

体験授業概要

宮崎へのまなざし – 「中央－地方」関係のなかで

科目：移動社会論

移動社会論では、モビリティ（mobility）体験の変化が、私たちの意識や行動、社会に与えるインパクト（影響）を、理論的・実証的に考えていきます。本体験授業では、宮崎を事例に、大正時代に日豊本線が全線開通し、東京と一本の鉄路で繋がったことが、宮崎の地域社会や県民の意識をどのように変えていったのか、それが現在の宮崎にどう繋がっていくのかを見ていきます。

国際文化学科
所属予定教員



倉 真一
准教授

「気持ち悪い」を哲学する

科目：哲学

みなさんは何かを見て気持ち悪いと感じたり、「キモい」という言葉を発したりすることがどれくらいあるでしょうか？ 気持ち悪いという感情（嫌悪感）は、病気の原因になるものを避け、生存確率を高める大切な心の働きである一方で、危険のないものや人にも向けられることがあります。特に人に向けられる場合、嫌悪感は私たちを不当な排除や迫害に向かわせる危険な感情にもなりえます。この講義では、そのような嫌悪感の本質と、嫌悪感を飼い慣らす方法について、哲学・倫理学の観点から考えます。

国際文化学科
所属予定教員



八重樫 徹
准教授

データで考えるお店の人気メニュー分析

科目：データサイエンス

身近なカフェを具体例にして、「どの場面・条件ならこのメニューは売れるのか？」をデータで探ります。数学なしで、メニュー別の販売数、曜日、天気などのデータを読み取り、人気メニューが売れるタイミングや理由をグループで考えます。
さらに、自分たちが店長なら「何をどうPRするか」を考え、データを根拠に提案します。
感覚だけでなく、データから発見し、判断するデータサイエンスの面白さを体験しましょう！

国際情報学科
所属予定教員



ラスマナ・
ウンジャニン・
ミアニン・ハリス
講師